

2010年(平成22年)の貧酸素水塊(まとめ)

2010年の貧酸素水塊の分布およびその規模をそれぞれ図1, 図2に示します。貧酸素水塊の初確認は5月18日で、例年よりやや遅めでした。

しかし、その後貧酸素水塊は、早いペースでその規模を拡大させました。そして、7月から9月中は、規模が安定して40%以上を保持しました。例年は、貧酸素水塊が発達しても、時化や台風により一時的に貧酸素化が解消されるので、2ヶ月に亘って高い規模を維持したのは特徴的と言えます。

9月には、湾奥で断続的に青潮が発生しました。青潮で底層の貧酸素水塊が湧昇したことにより、10月になると規模は急速に小さくなりました。そして、10月30日に接近した台風による鉛直混合のため、11月2日には貧酸素水塊が確認されなくなりました。貧酸素水塊の解消は、近年は11月中旬～12月上旬が多く、今年の解消はやや早めでした。

千葉県水質保全課の情報によると、青潮は3回(9月9日～10日, 9月15日～9月21日, 9月24日～9月29日)でした。

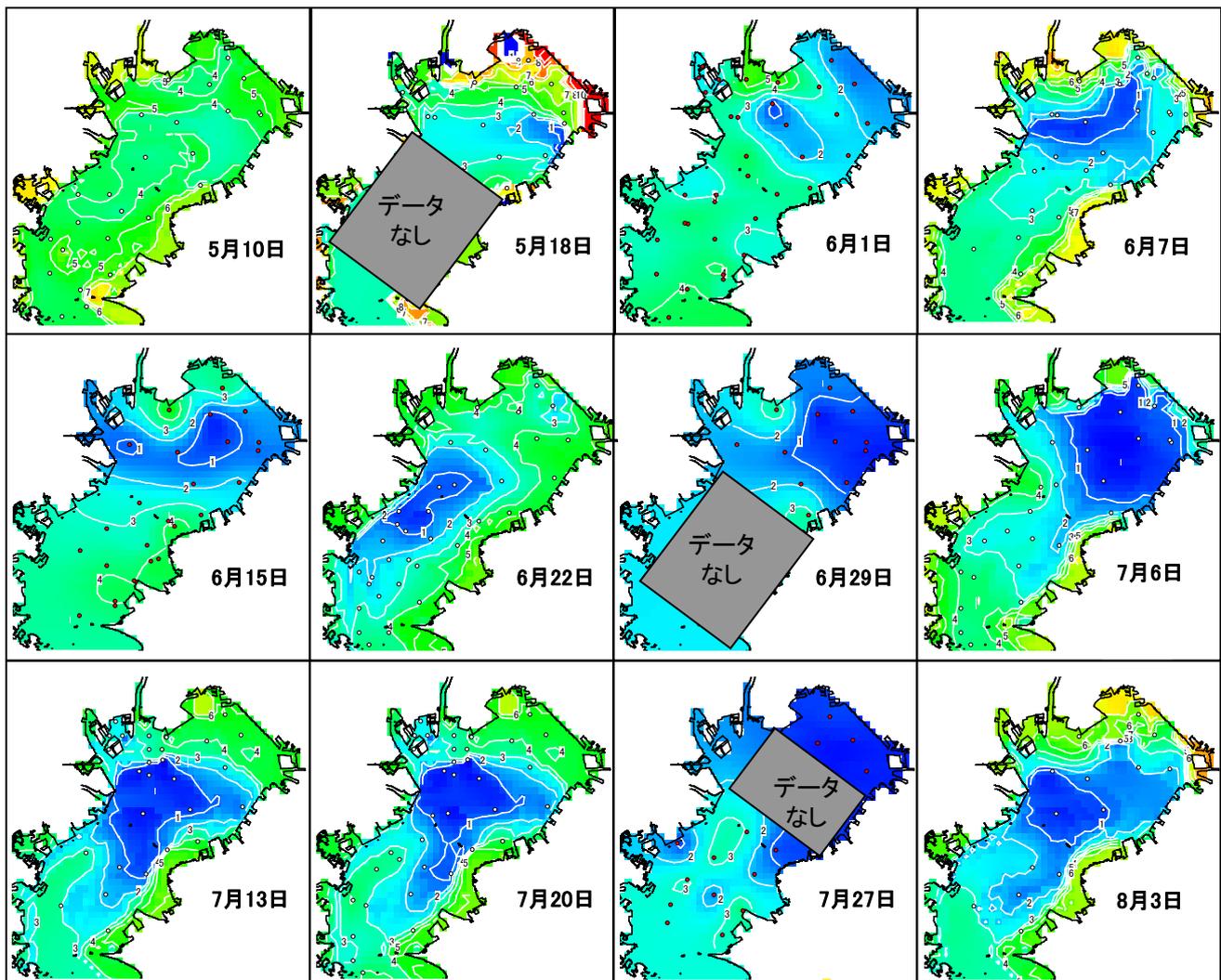


図1 貧酸素水塊の分布

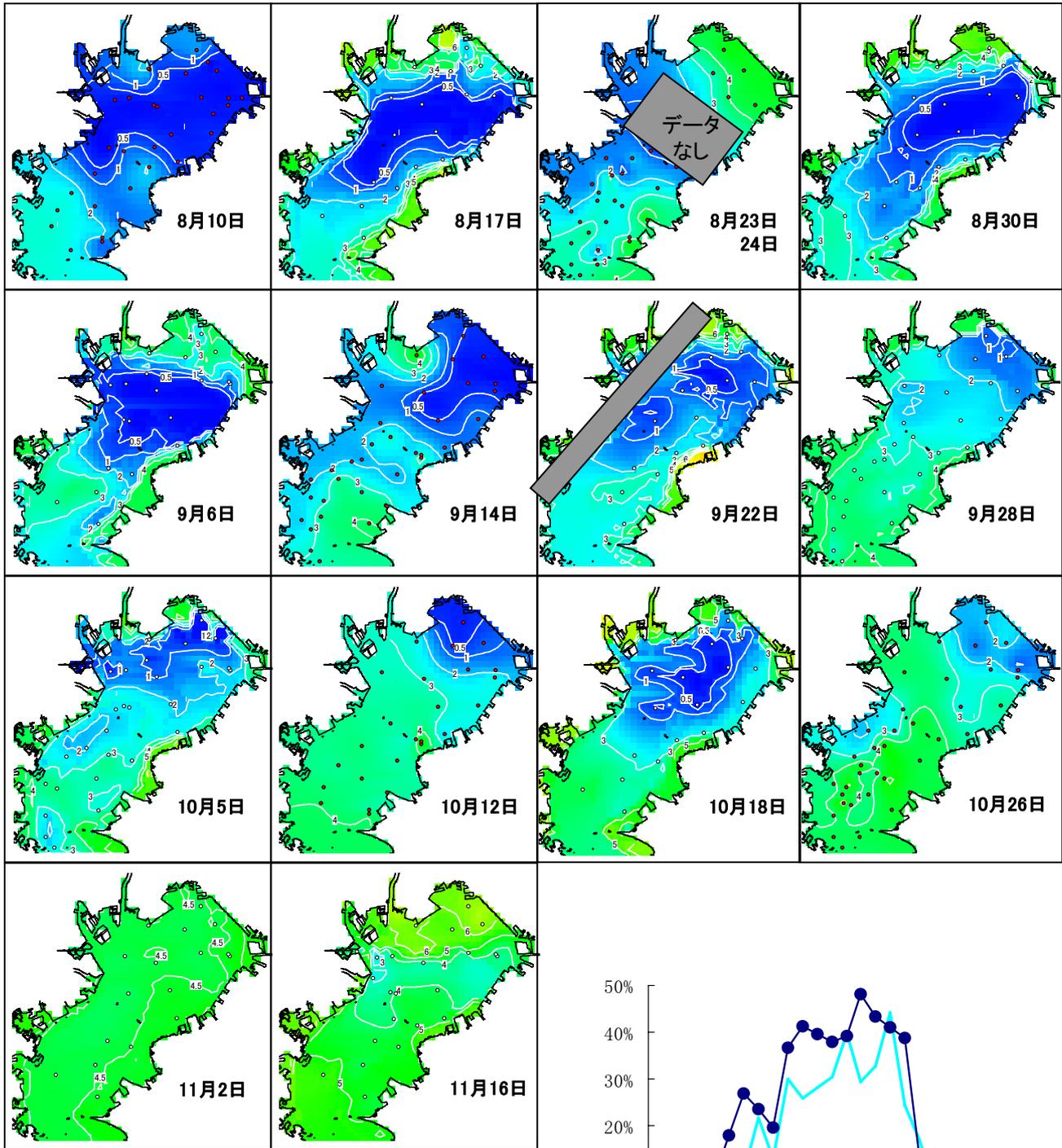


図1 貧酸素水塊の分布(単位ml/L)

10 8 6 4 2 0

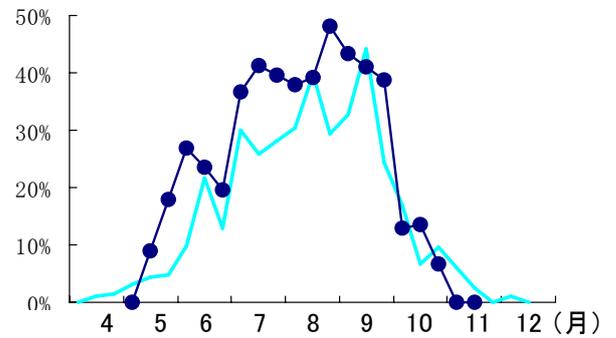


図2 貧酸素水塊の規模
(●:2010年, —:直近10年平均)